

市民経済委員会会議録

平成20年11月12日（水）

（開 会）10：00

（閉 会）10：50

○ 委員長

ただ今から市民経済委員会を開会いたします。

「オートレースの運営について」を議題といたします。「平成20年度売上額及び入場者の状況について」、「場外発売時における第一特別観覧席の開館について」、「ファン感謝祭について」、「場外発売所の経過について」、執行部の説明を求めます。

○ 事業管理課長

それではご説明をさせていただきます。まず1点目の議題でございます、平成20年度売上額及び入場者の状況について、お手元に配布しております「平成19・20年度売上額及び入場者比較表」に基づきまして、平成20年10月24日までの本場開催50日間の状況につきましてご説明いたします。

売上額につきましては、約100億6189万円となっており、平成19年度と比較しますと、約21億6803万円、率で言いますと17.7%の減となっております。入場者数につきましては、195,331人となっており、平成19年度と比較しますと、57,996人、率で言いますと22.9%の減となっております。この売上額等の減の理由は、昨年10月末から5日間開催しました日本選手権の売上と10月までの開催日数が11日間少ない影響だと考えております。開催日数も異なりますことから、比較が難しいので、表の中にも小計の欄の下に1日平均を設けております。ちなみに、10月末日でのデータの総車券売上額の1日平均は、20年度約2億124万円、19年度約2億49万円で、前年度比約75万円、0.4%の増、及び本場入場者数の1日平均は、20年度約3,907人、19年度4,153人で、前年度比約246人、5.9%の減となっております。

売上状況につきまして、今までのところ全体的には昨年度とほぼ変わらない状況で推移をしておりますが、今後の状況を全体的に判断いたしますと、ガソリン価格に代表される物価の高騰などの社会不安の影響等により、本場・場外とも売上は下がってきており、厳しい状況になるものと思われれます。

2点目でございます、場外発売時における第一特別観覧席の開館についてでございますけれども、夏は暑く、冬は寒いというオートレースの環境をいくらかでも改善して快適空間をファンの皆様に提供するために、第一特別観覧席に大型テレビ及び自動発券機等を設置して、場外発売時においてもファンに利用してもらうように改修いたしておりました。この度、関係者との協議等も整い、山陽オートで開催されました平成20年10月30日のSG日本選手権から開館いたしました。なお、入場料は、300円を徴収いたしております。

3点目でございます、ファン感謝祭についてでございます。平成20年10月27日(月)、ファン、選手及び関係者約450人の出席のもと、「有吉辰也選手SG初制覇報告会及びSG日本選手権出場選手壮行会」を兼ねまして、のがみプレジデントホテルでファン感謝祭を実施いたしました。ファンと選手の交流も盛会のうちに終了いたしました。

4点目でございます場外発売所の経過につきまして2箇所の報告をさせていただきます。

まず1箇所目が吉富町場外発売所でございます。8月8日の市民経済委員会においてご説明をいたしました、吉富町における飯塚オート専用場外発売所の設置につきまして、その後の経過をご報告いたします。

9月5日に、設置に反対の団体から1,000名を越える署名を受けました。吉富町では、町議会の反対意思の表明もあり、各自治会とも住民の中に賛否両論あるとのことでございます

ので、吉富町長も改めて自治会の賛否を確認した上で、態度を決めたいとのことでありましたが、最終的に、住民に対するアンケート等の実施の結果、4自治会のうち、2自治会は協議の上、町長に任せるとの意見で集約され、他の2地区はアンケートを実施されて、いずれも反対多数という結果をも参考にされまして、設置に同意しないというコメントが出されました。飯塚オートの方にも、吉富町から同様の趣旨の連絡を受けたところでございます。

飯塚市といたしましても、場外発売所の設置は困難であると判断し、断念せざるを得ないところでございます。

2点目、南九州市場外発売所につきまして、この設置の計画についてご説明をいたします。

まず、南九州市でございますが、お手元に配布いたしております「南九州市場外発売所設置予定位置図」をご覧くださいますと分かりますように、薩摩半島の中央に位置しており、平成

19年12月に知覧町、川辺町、^{かわなべちょう}、^{えい ちょう}の3町が合併したもので、人口は41,500人ほどの市でございます。ご存知のとおり知覧町に代表される観光都市ですが、産業は、お茶、サツマイモなどの農林業、豚、養鶏等の酪農業が中心の町です。交通アクセスとしましては、鹿児島市に隣接しており、鹿児島市の中心部からは30、40分の距離にございます。また、枕崎市、指宿市からは約1時間程度のところでございます。現在鹿児島空港から枕崎市に行く道路が整備されており、近く開通の予定ということでございます。その道路は場外発売所設置予定場所の横を通り、インターもごく近くに出来る予定でございます。鹿児島からのアクセスは一段とよくなると思われます。隣の南薩摩市には競艇の場外発売所がありますが、非常に集客が見込めるところで、計画では年間売り上げ30億円弱を見込んでおります。

この物件につきましては、平成20年3月にコンサルからの紹介で南九州市役所に出向き、市長他幹部職員に飯塚オート事業の概要、現状、場外発売所の設置条件、設置のメリット等を説明し、設置に向けての協力をお願いいたしました。今後、互いに協議をしていくとの返事をもらい、その後、場所等も変更になりましたが、市のご協力を頂き、川辺地区の現在の計画場所になりました。その後、10月19日に地元住民、4自治会への説明会を開きましたが、戸別に反対ビラが配られていたようですが、説明会の中では事業そのものに対する反対はなく、雨水の流末処理、交通渋滞処理等の質問等がありました。また、この説明会には、南九州市の企画課長他1名の職員も立ち会っていただいております。今後も慎重に進めていく必要があると思いますが、感触としましては、南九州市の議員さんも大多数が反対ではなく、市の方も協力をいただいておりますので、住民の同意が得られれば設置に向けて進んでいくものと考えております。

○ 委員長

説明が終わりましたので、ただ今の説明に対する質疑を含め、全般についての質疑を許します。質疑はありませんか。

○ 藤浦委員

場外発売所の件で質問をさせていただきます。今度は南九州市の川辺ですか。まただめになるんじゃないですか。いくつもこの数年来設置に向けての協議がされたり、報告があったりしておりますけど、どれも実現をしていない。その背景というものが何か垣間見えるわけですね、実現できなかったということも。今の課長の報告の中でビラが回されておったというようなお話もあっておりますよね。私もそのビラちょっと入手しておりますけど、まずこのビラについてのことについて質問をしたいわけですけど、皆さんにもこのビラを配布していただけたら質問がしやすいかなと思いますので、委員長どうかこのビラの配布についてお取り扱いのほどお願いします。

○ 委員長

執行部にお尋ねいたしますが、ただ今藤浦委員から要求のっております資料は提出するこ

とができますでしょうか。

○ 事業管理課長

すぐに用意ができますので、配布させていただきます。

○ 委員長

おはかりいたします。ただ今藤浦委員から要求のありました資料については要求することにご異議ありませんでしょうか。

(異議なし)

ご異議なしと認めます。よって執行部に資料の提出を求めます。

資料が準備されておりますので事務局に配布をさせます。

○ 藤浦委員

お手元に配布されたビラにですね、今回の川辺町の件に関して、「ギャンブルのまちはゴメン！」ということで、内容についてはお読みいただければ分かると思いますが、出されたところは日本共産党さんですね。この資料を作られる際にですね、同じ共産党さん同士のつながりというか、そういうことでの情報交換があったんでしょけど、飯塚の共産党市議からこちらのほうにですね、色んな情報の提供がなされておると。いわゆる色々と扇動されておるといようなお話を聞くわけですけど、そのへんのところはどうなんでしょうか、事実そういうことがあったのかどうか。

○ 公営競技事業部長

川辺の元共産党の町会議員さんですね、川辺町の元共産党議員さんからの問い合わせによりますと、飯塚の市議のほうから情報をもらいましたということを言われてました。

○ 藤浦委員

ということは飯塚のほうの共産党市議のほうからこちらのほうに情報提供されて、こういうことは反対をなさいと要は、ということだろうというふうに思うんですね。私ども市民経済委員会でもですね、やっぱりオートレースの事業の発展を願いながらやってきてるわけですね。色んな事業計画の見直しとか改善をやりながらですね、やっぱり売り上げの増とかそういったことに関して、市民経済委員会も1つの合意をしながら、この場外発売所についても推進をしていこうということを、皆さん合意をされてると思うんですね。そういった中で、飯塚市議がこういう反対の指導をしていると。今までも植木もありましたね、吉富町もありましたね。これ、背景は全部ね、こういうものが見えてるわけですよ。これについて、どうやっぱり飯塚市議会としてやっていくか対応していくかというか、推進を今からやっていかないかんわけですけど、やっていこうとする矢先にね、こういう要は邪魔をされるということに対してね、我々はやっぱりそのことに立腹するわけですね。これもう一度どうするのかそのへんの基本的な合意という部分をね、きちんとしていくべきじゃないかというふうに思うわけですね。市長も副市長もね、実際に現地に行かれたりしてますよ。理解をいただくということで先方さんに行って、地域に対する様々なメリットですとか、地域の経済に対するメリットですか、そういうことを説明にあがってるわけですね。ところがね、共産党さんはいつも決算のたび予算のたび本会議のたびに、誰が行きましたかとか、どうしましたかとかね、そういうふうな質問をすぐ投げかけてくる。何か悪いことをしてるようなイメージでね、やられてる。そのことに反論できないとか、しない執行部もどういうことなのかというふうに思いますけどね。そういうふうな基本的なあなたがたの姿勢を、もうちょっと我々にもきちんと示してもらいたいし、日本共産党さんに対してもですよ、やっていくことに対しての理解を求めるべく努力をしてもらいたいなど。そうしないと、我々市民経済委員会もオートレースの運営についてこれだけ毎回毎回審議しながら、真剣にどうやって取り組んでいくかということをやっているわけですから。その辺の基本的なあなたがたの思いというか、そのへん副市長からでもご答弁いただけませんか。

○ 公営競技事業部長

このオートレース事業も場外発売所の設置、これは現在取り組まれております行財政改革の一環の財源の確保という中では非常に重要なことだというふうに我々も思い、一所懸命取り組んでいるわけですが、そういう中で色んな所に行っていくらかでも財源の確保をしてこようということやっておりますが、そういう中で我々としては、これはれっきとした飯塚市の事業でございますので、議員の皆様にも応援をいただきたいというふうに考えております。そういう中でやっぱりこういうビラが飯塚市から情報が流れてこういうビラが配られてるということにつきましては非常にくる然とするものがありまして、何でだろうと、飯塚市にとって我々はいいいということやっておるのにですね、そういうことをされるのは何でだろうという非常に疑問を持っております。我々としてはこれからですね、議員さんにも応援をいただきながら、この事業については強力に進めていきたいと、努力をしていきたいというふうに考えておりますのでよろしくお願いします。

○ 藤浦委員

あのですね、基本的に共産党さんは色んな福祉の問題ですとか雇用の問題ですとか、たくさん本当にすばらしい活動もされておりますしね、ご発言もなされておられますよ。であるならね、例えば飯塚市は本場を持っているわけですよ。この本場に対して共産党さんはどういうふうなお考えがあるのか。オートレース事業そのものが反対なのか、まあ反対は反対でいいと思うんですよ。ギャンブルですから、ギャンブルだというふうに明言してありますからね。ギャンブルはいらない、ギャンブルでのまちづくりは必要ないというふうに言われてあるのにね、本場に対してはそんなこと一言も言わないじゃないですか。本場に対しては従事員さんの雇用の問題ですとか賃金がどうだとか首切りがどうだとか、そういうことを一所懸命言っただけじゃないですか。だから非常に矛盾をしている。だからそういうところをね、きちんとやっぱり行政、要するに執行部としてはですよ、事業部としてはね、やっぱりそのへんも意見をきちんとね、議論をすべきじゃないかなというふうに思うんですよ。あまりにもそのへんのところの矛盾も感じますんで、今部長が言われたようにね、推進していくなら推進していくというところの方向性で、自治体と一体となってね、やるべきはやる、言うべきは言う、戦うべきは戦うということで推進していただかないと、我々も応援のしようがありませんので。ぜひそのところは肝に銘じてやっていただきたいというふうに要望しておきます。

○ 委員長

他に質疑はありませんか。

○ 吉田委員

ただ今藤浦委員から貴重なご意見がありましたけど、私もまったく藤浦委員に同感でございます。だからこの問題はですね、今日初めて聞いて知らなかったんですけどね、こういうたびに飯塚市のほうから、悪い言葉で言うと、邪魔が入っているような行為をされたら、こういう委員会を何のために開いて、オートレースの関係者がこんなに努力されてあるのに、何のためになされてあるのかさっぱり分からなくなりますのでね。今藤浦委員の意見にもありましたようにですね、対処方法といいますか、市長、副市長も共産党の対策にですね、これが本当のことだろうと思いますので、もう少し、うちのほうには2名共産党さんの議員さんがいらっやいますけど、市長、副市長がお会いになって、こういうことは止めてくれんかと、こういうことぐらいは言われてこういうことは運ばないと、裏でこんなに邪魔されたら出来るわけないじゃないですか。全く藤浦委員と同感でございますので、真剣にですよ、笑い話じゃないで真剣に対処方よろしくお願い申し上げたいと思います。

それとちょっと先ほど出ておりました、私全然無知なものですから教えてもらいたいんですけど、この鹿児島県に、今公営競技ですかね、ボート、競輪、競馬とかありますけど、いくつ公営競技がなされてるんでしょうか、ちょっと教えてください。さっきボートがどうのこの

とか出てましたもので、ちょっと知りませんもので、鹿児島県のただ今の公営競技がいくつかあって、何と何があると、そういうことを教えてください。

○ 公営競技事業部長

ちゅうでしか覚えてませんが、まず競輪のほうから行きますと、霧島市の空港がある所ですね、あそこに溝辺の場外発売所があります。それと阿久根に最近場外発売所が出来ております。それと天文館に小さな場外発売所が、これは溝部の関係ですけど出来ております。それと鹿屋市に競輪が出来ております。競輪はたぶん以上だと思います。それからボートのほうは金峰町、いま南さつま市と言いますが、そちらのほうに1つ出来ております。それと志布志市にオラレという小さな無人の発売所、これが計画されております。それから地方競馬は大崎町と言って逆の大隈半島のほうになりますけど、そちらのほうに1つございます。もう1つ競輪が肝属町にあります。たぶん以上と思います。

○ 吉田委員

場外発売所と本場ですけど、実際本場はいくつあるんでしょうか全部場外ですか、ちょっと教えてください。

○ 公営競技事業部長

南九州のほう、宮崎、鹿児島には本場がございません。

○ 吉田委員

本場は今言われたように全くないわけですね、全部場外ですね、はい分かりました。

それと先の続きになりますけども、こういうものができましたらですね、先の藤浦委員の話の中にもありましたように、共産党さんは賃金うんぬん、雇用うんぬんはよく申されてるんですよ。必ず雇用が幾分確保されるんですよ。だから雇用雇用とおっしゃるならば、必ずこういうものが出来れば雇用も幾分確保されるんですから、こういうギャンブルで反対の意見ばかりの中に雇用問題とか一切出てきませんのでね、それは当然でしょうけれども、そういうことももう少し強くアピールしていただいて、とにかくもう少し地元の共産党さんですてねお話をしていただいて、うまくいくようにですねお願いしていただけるように、強く私から藤浦委員同様意見を申し上げて終わらせてもらいます。よろしくお願いします。

○ 藤浦委員

先ほどこれも言うておこうと思ってましたが言い忘れましたので。2ページ目にあります、元飯塚市民のお話ですがというところでですね、カッコ書きで色んなこと書かれてますね。これは事実かどうかね、事実こういうことがあるのかどうか。それは全くゼロだという部分でもないとは思いますが、ありますけどね、あまりにも極端過ぎますよねこの表現も。こんなこと書いて人様を扇動してね、許されるのかっていうことです。共産党さんの立場としてやはり言わなきゃならない、しなきゃならないという立場は、我々も理解をしながらやってくる部分というのはありますよ。しかしこれはひどすぎる、中身についてあまりにも。中高生の影響とか学校をサボるようになるとかですよ、ゆすりたかりが起きる、他校とのけんか、学校の荒れの原因にもなるとかね。こんなもの見たら本当に知らない人は本当にこんなことがあるんだと、反対ですよと絶対言いますよそりゃ。だけどこれは事実じゃないじゃないですか。早朝前売7時からやるようになった、なったって別に市民生活に何も迷惑かけるわけじゃない。ナイターは9時まで、周辺はゴミの山。道祖委員、鯉田はゴミの山ですか、あの辺は。こんな極端なことを書いてばら撒かれてね、黙っとくほうが私は悪いと思いますよ。そういった点もきちんと努力をしてください。お願いします。

○ 道祖委員

私もひどいと思いますよ。確かにねゴミというのは、出走票というんですか、そういうのが確に残ってる場合あるけれど、開場の時は皆さん掃除してるんですよ、職員の皆さんがね。終わった後も掃除してますよ。だから以前みたいに散らかってるというイメージは僕は持たな

いんですけどね。それとともに、周辺の道路で博打、屋台での飲食、これなされてませんよね。民家への無断駐車も今はもうしてませんですよ。それと警備の人立ってもらったり色々してるから、そういうことないというふうに思っております。昔は学校サボってね、僕らも昔高校生ぐらいの時は車券買いに来てた人はいましたよ、同級生に。そういうのはありますけど、今見てる限り高校生が買いに来てるといえるのは見えないと思うんですよ。だからやはりこんなものがばら撒かれてるといえるなら、事実の錯誤というか認識の錯誤が生じますから、もしあれだったらね本気で皆さんがこちらのほうに場外発売所を造るんならばね、向こうの皆さんをご招待してね状況を確認してもらったほうがいいんじゃないでしょうかね。私はオートレース場で周辺整備やってもらってますね、街灯やら整備してもらってるから、かえって通学路が明るくなってるというふうに理解してます。ただ誤解を与えるようなビラは速やかに訂正するように動いたほうがいいと思いますよ。藤浦委員のお怒りはごもっともだと思います。私も地元でこんなことがあっていたら、何をしているんだという話になりますから。繰り返して言いますが、向こうのかたをお招きして議会のかたなり市長なりをお招きしてですね、実態を見ていただければいい。今の時期は紅葉がきれいなんですよ、オートレース場。

○ 委員長

他に質疑はありませんか。

(な し)

お諮りいたします。本件は掘り下げた審査をするということで継続審査といたしたいと思いますがご異議ありませんか。

(異議なし)

ご異議なしと認めます。よって本件は継続審査とすることに決定いたしました。